授業評価アンケートに対する対応

平成 18 年 10 月
技術経営専攻

平成１８年度前学期末に、授業内容の向上を図るため、受講生を対象に授業評価アンケートを実施しました。アンケート結果に対し担当教員からコメントのあった科目について、以下に掲載いたします。

受講生の意見・要望を踏まえて、より実りある授業にするよう努力してまいります。

科目名：経営者論セミナー　　担当教員：田辺　孝二

コメント：

土曜日午後３時の開講としたことから、グループワークを授業内に実施することができ、ゲスト経営者と十分な討議や授業後の懇談を行うことができました。

受講生の要望に基づき、ゲスト経営者のオフィス訪問、工場見学を実施し、大変有意義と好評でしたので、来年度も実施したいと思います。

科目名：技術と産官学連携　　担当教員：田辺　孝二

コメント：

日米のイノベーション政策、産官学連携による研究開発・標準化、大学の産学連携活動などについて、理解と関心を深めることができたことと思います。今後みずから実践していかれることを期待しています。

科目名：ネット社会のビジネスモデル　　担当教員：比嘉　邦彦

コメント：

今学期は、たまたま色々な行事等に講義日程がぶつかることが多く講義が２週間以上ないことが２回もあり、講義内容の継続性を保つのが大変難しい学期でした。

私の方も、少し欲張り過ぎてケースの数やリーディング資料を多めに用意したことも「時間が足りなさ過ぎる」と言う評価につながったものと思います。

また、学生の皆さんからの要望でもありましたが、急遽ゲスト講師による講義を入れたことも予定していたケースをカバー出来なくなったり、全体的に時間が不足した一因かと思われます。

しかし、その一方で「最も楽しい講義であった」とか「単位なしでも良いので来年も参加したい」と言うコメントもありました。ゲスト講師の評価も大変良いものでしたので、トレードオフとしては間違いなく成功したと思っています。

一般教養の講義ではないので、週一回９０分の講義時間でどれだけのことが出来るのか、また適切なのかを試行錯誤しながらより良い講義を提供できるように努力精進して行きたいと思います。

科目名：技術経営概論　　担当教員：宮崎　久美子
コメント：
Most of the comments should have been given while I was giving the lectures.　I could have taken action immediately to take into account your comments.

I think some of you had difficulty understanding the content of the course since it was given in English.　After the first 4 classes, I gave an extra class in Japanese summarizing the main points covered so far.　If there was a request to continue with that process, I would have gladly continued but there was no request.　I also gave an extra tutorial for some students in my office.　If you had a problem understanding any part of the class, you should have been asking questions.

This course required an active participation by the students. I have been able to understand how much you understood the class by the group presentations as well as the end of term report.

科目名：イノベーション論　　担当教員：藤村　修三
コメント：
　本を用いてのグループディスカッションのスケジュールについては来年度考慮します。

科目名：技術マーケティング　　担当教員：長田　洋
コメント：
　今年度は講義時間が足りなかったので来年度からケース教材の使用方法を変更します。

科目名：　知的財産権法　　担当教員：佐伯　とも子
コメント：
　判例など事例をできるだけ多くしたいと思います。初学者、知財系以外の学生の方は、知的財産権法入門書（理系向けに配慮されている本もあります）を予め読んでから取り組んでもらえるとよいのではないでしょうか。

科目名：IP マネジメント　　担当教員：京本　直樹

コメント：
　要望に応えるよう改善をしていきたいと思います。

科目名：国際知的財産　　担当教員：田中　義敏
コメント：
（自由記述１.）「知財版地球の歩き方」のようで、要点を押さえつつ土地勘がついたように思えました。
（応答）国際知的財産は、各国の制度運用・調和など内容が非常に広くなってきています。全体の講義を通して、幅広く、バランス良く知識習得しておくことが大切です。養った土地勘をもとに、更に詳しく学習しておくと良いでしょう。

（自由記述２.）　内容が濃くキャッチアップがままならぬまま終わってしまった。自分でフォローの必要性を強く感じる。
（応答）前期の授業で国際知的財産のすべてにわたって詳細まで習得することは時間的に難しいと思います。今回学んだことをもとにして、更に自己研鑽されると良いでしょう。焦る必要はなく、全体をつかんでおけばよいと思います。

（自由記述３.）大局的な説明と、個々の事例の説明が入り乱れ、理解しきれない部分があった。ポイントをより絞ってもらいたかった。
（応答）皆さんの理解度が更に深まるよう、授業の進め方を工夫していこうと思います。一方で、理解しきれなかったことを自分なりに解決していく努力も必要でしょう。

（自由記述４.）毎回、授業のスライドのレジュメを配布してくれるのが有り難かったです。
（応答）授業で配付された資料を、科目終了後においても、深堀していくことをお薦めします。しばらくして授業内容を振り返ることは知識の定着化にも役立つと思います。

科目名：金融工学　　担当教員：二宮　祥一
コメント：
(1)・個人的にはもっと確率解析を用いて欲しかったが MOT の授業として適切かはどうかと思った。
(A-1) MOT の学生を対象にしなくてはならないのであの様な講義になりましたが、実際の受講者の殆どが他専攻の学生だったので、来年は方針を考え直す予定です。

(2)・この講義とは別に数学（確率解析）をしてほしい。
(A-2) 数学科に確率課程の講義があります。是非、それを受講することを勧めます。

(3)・もう少し実務と絡めて話を進めて欲しかった。
(A-3)コメント(1)とも関連しますが、ある程度の数学的な準備をしないと実務の話も難しいという所があります。来年はどちらの方向にするか検討中です。

(4)・板書とスクリーンを併用する際、前面電気をつけて、黒板を見易くして欲しかった。
(A-4)了解しました。他にもいろいろとあるでしょうが、講義中に言って貰えると気付くこともあるので、遠慮せずに言って下さい。

(5)・プロジェクタより板書の方が良いです。
(A-5)わかりました。もっと板書を増やします。

科目名：金融リスクマネジメント　担当教員：中川　秀敏
コメント：
・授業は面白かったし、授業後に興味が高まった。
（中川）そう言ってもらえるとうれしいです。ただ実際は毎回反省反省でした。

・ポートフォリオレース面白かったです。
（中川）私にもう少し市場分析能力があれば、もう少し的確なコメントができたと思いますが、エコノミストでもアナリストでもないのでご勘弁を。ただ、このラリーで重要なことは最初の自分の見通しと実際の結果とを比較分析して考察を行うことです。

・大変分かりやすい授業で、先生もとても熱心でした。先生の後期の授業も履修したくなった。
（中川）そう言ってもらえるとうれしいです。私自身は自分の説明が上手いと思ったことは、あまりありません。早口ですし、間違えることもよくありますし。今後も「良い授業」にするために、いっそう努力しないといけないと思っています。

・ラリーには全員参加してもらいたいです。
（中川）理想的には全員参加してもらえると良いのですが、ラリーのエントリーの時点で、ラリーの意味を皆さんに理解してもらえなかった面もあるかと思います。それに「観客」に徹するというのも一つの見識として尊重したいと思います。

・エクセルの扱い方に慣れていなかったので、そこがつらかった。
（中川）エクセルについての補講をすればよかったかもしれませんね。昨年度の「コーポ

レートファイナンス」のときには、講義後に何回かエクセル補講をしたのですが・・・
金融リスク管理は紙ベースで勉強したところで、単に統計分析の応用にすぎません。やはり生データを使って理屈通りにいかないことを体験してもらうことが重要 だと思っています。そのためにデータを分析することが必要で、優秀なツールはたくさんありますが、最大公約数的にエクセルを選択することになってしまいま す。
まあ、私自身の経験でも、ある程度大変な量のデータを扱うことになって初めて、エクセルに慣れていったというところもあります。講義を通じて、結果的に少しでも慣れていてもらえたら幸いです。

・授業内容より、高度な事を行う場合の、具体的な学習法を示していただけるとより、充実すると思います。
（中川）コメントの意味は、授業で触れた基本的内容以上のことを勉強するためのガイドラインということですかね？テキストはいくつか紹介しましたが、今後はもう少し具体的な説明を意識していこうと思います。
大まかな回答としては「いろんなテキストや論文から分析手法を学ぶこと」「そしてそこに挙げられている手法で実際のデータを分析すること」という２点につきると思います。
ただ、どういう方法が良いのか？という判断になると、現場をある程度知らないと適切には判断できないと思うので、機会があればプロの方にアドバイスをもらうのが良いですね。私もある程度現場に近いところにいましたが、現場そのものを深く知る立場にはなかったので、ヒアリングなどを通じて得た（間接的ではありますが）現場感覚は非常に参考になっています。

・ブログの方に、リアルタイムで起こっている事柄などを紹介してもらえれば、もっと興味深く授業に取り組めると思う。
（中 川）おっしゃるとおりですね。せっかくブログを作っていますし、授業ではたまにネット記事を紹介したので、そのリンクを貼れば良かったですね。アホでした。今後の授業では実践していきたいと思います。また、私一人が情報収集するのも限界がありますし、情報ソースも偏るので是非コメントを通じて受講者の方 にも記事などを紹介してもらえるとありがたいです。

・非常に役立つ内容でした。
（中川）金融リスク管理自体はマクロな問題として考えられがちですが、実際には個々人のリスク・マネジメントに大いに役立てると思います。まあ講義内容ではなく、エクセルの技一つでも今後の研究・仕事に役立ててもらえればうれしいです。

科目名：セキュリティマネジメント　　担当教員：尾形　わかは
コメント：
・貴重な御意見をありがとうございました．来年度以降の講義に反映させていただきます．
・社会人経験の有無，ネットワーク等の知識の有無による理解のばらつきをできるだけなくすように，講義内容を変更する，演習課題を細分化し発表回数を増やすなどの変更をします．また，１回目と２回目の発表でグループ分けを変えるなどの工夫を検討します．

・講義資料をできるだけ事前に公開するようにします．予習を前提とする講義にするつもりはありませんが，次回予告としてキーワードを伝える等により，学生自身が必要と判断したときには予習ができるようにします．